



真光寺中

学校だより第46号

平成24年2月1日
町田市立真光寺中学校
校長 戸塚 吉彦

☆ おやじの部屋 「腕相撲」

学校公開の1月14日(土)の昼休み、おやじの会(渡辺会長)による“かかってきなさい「おやじの部屋・腕相撲」”が行われました。

家庭科室前の廊下に手作り工芸部製作の門を設置し、被服室を会場に熱戦が繰り広げられました(写真上)。

当日は、PTAの岡田会長をはじめ本部役員の皆さんも参戦?してくださり(写真下)、用務の三沢さんら教職員も子ども達の挑戦を受けました(写真左下)。昼



食が終わる1時のチャイムを合図に、次から次へと子ども達が“力試し”に訪れました。

おやじの会は、ペンキ塗り、ソフトバレーボール、体育祭りレー(今年度は平日のため、実現出来ませんでした)、合唱祭のビデオ撮影、武相駅伝3チーム参加、そして腕相撲と、学校との関わりをたくさんもっていただきました。

☆ “百人一首大会”

1月26日(木)の午後、体育館を会場に1年生の“百人一首”大会が行われました。

特別講師・2学年国語科の平野先生をはじめ、担任の先生方が読み手を交替しながら、生徒達がグループ毎に早取りを競います。2年生が移動教室で“百人一首大会”を行ったことは前号でお伝えしましたが、1年生も負けてはいません。互いに額を寄せ合うように、下の句が書かれた札を探し、熱戦が繰り広げられました。

写真右下は表彰状と、優勝クラスへのトロフィーです。トロフィーは手作り工芸部製作で、紅い扇に百人一首の句が浮かび上がっています。

優勝クラスは2組です。おめでとう!

枚数が多かった生徒には、個人の優秀賞の賞状が渡されました。



☆ 校長室から 「縄文海進」クイズ付き

18日(水)、テレビや新聞で「三重県明和町の国史跡斎宮遺跡から、平仮名の“いろは歌”としては最古と思われる文字の書かれた土器が見つかった」と報道されていました。そこで、「またか!」と言われそうですが、またまた歴史ネタです。

“最古”ということに関連して、「稲作」等についてです。私や保護者・地域の皆様が学校の歴史や日本史の授業で習った頃は、「弥生時代に西日本から稲作が広まった」と勉強しました。現在では、発掘や研究の成果で、**稲作は縄文時代の末には始まっていた**というのが定説となっています。真中で使っている歴史の教科書にも、「九州北部では、縄文時代末ごろの土器とともに、水田のあとが発掘」と記述されています。また、東北地方は稲作がなかなか広まらなかったと教わりましたが、青森県の田舎館村にある弥生時代中期の垂柳遺跡(たれやなぎいせき)では、656枚もの水田跡が発掘されています(写真上。1枚1枚の面積は非常に小さい)。私は10年ほど前にこの遺跡を訪ねています(水田跡は埋め戻されています)。

また、右上の写真は全国的に有名になった青森市の三内丸山遺跡の巨大建造物です。三内丸山遺跡は縄文時代中期に約1,500年にわたり、巨大集落が営まれた遺跡で、巨大建造物は柱の太さが根本で1 $\frac{1}{2}$ 余、高さは20 $\frac{1}{2}$ にもなる栗の巨木です(現在の日本では、このような栗の巨木はありませんのでロシアから輸入したもので再建しています)。この巨大集落では魚や木の実を採って食べる採集経済だけではなく、**栗やゴボウ、豆は計画的に栽培**されていました。縄文時代という意識を変えるような定住の巨大遺跡です。このように、稲作や三内丸山遺跡のような存在は、縄文時代に気温が上昇して海面が上がり、東北地方が今より温暖な状況(2度くらい高い)にあったことも理由と考えられます。それを「縄文海進」といいます。さて、歴史クイズです。「**雲太。和二。京三。**」が何のことか分かった方は校長まで。※ネットで調べず考えて。ヒント=①大きさの順位です。②3年生は修学旅行にいらしているので、「和二。京三。」は1・2年生より有利だよ。

☆ 3日は節分です。季節の変わり目に鬼(邪鬼)に豆をぶつけて追い払う行事です。豆まきをしましょう。

